

## 事務事業評価における総括

部 局 名	都市部	記入責任者	榊原 敦
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>都市部の政策的事業は、19 事業のうち 17 事業で S 評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。</p> <p>景観みどり課の民有地緑化推進事業は目標値を達成できなかったことから、C 評価としていますが、30 年度に制度の見直しを行った事業であるため、指標を達成できなかったものの、今後成果が見込めると考えています。</p> <p>なお、建築指導課の耐震改修促進事業については実績を集計中です。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした民有地緑化推進事業については、「生け垣築造補助金」の補助対象が、「連続した長さ 2m 以上で、1m につき樹高 60 cm 以上の樹木を 3 本植樹した生垣の築造」のため、一般の家庭にとっては要件が厳しく、申請件数が伸び悩んでいました。</p> <p>このような課題がありましたので、平成 30 年度中に制度の改正を検討し、その結果、1 本の植樹から助成対象とする「みどりのまちなみ推進補助金」を令和元年度から開始し、利用しやすい制度としました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>「ちがさき都市マスタープラン」、「茅ヶ崎市景観計画」及び「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」について、“茅ヶ崎らしさ（茅ヶ崎の価値・魅力）”を高めるという共通のコンセプトのもと、市民や事業者、また庁内関係課と連携して取り組み、官民連携したまちづくりを継続して進めます。</p> <p>コミュニティバス運行事業等の移動環境の整備については、継続して実施していきますが、高齢者の増加等による地域の移動に係るニーズに変化が生じていることから、地域が主体的に運営する移動手段の検討を行っていきます。</p>			